

なんじゃもんじゃ

Municipal Ena Hospital Public Relations Magazine



当院は平成22年より
(財)日本医療機能評価機構の
認定を受けております。



恵那病院HP



病院Facebook



新年のあいさつ	1
医療消耗品委員会の活動	2
職員募集	2
訪問看護ステーション	3
外来担当表	4
クイズ	4
編集後記	4

新年のあいさつ

『健幸都市』宣言をした恵那市の中核病院として、健康増進事業、健康管理事業を行い、住民の方々が健康に暮せる環境整備に寄与します。

明けましておめでとうございます。市立恵那病院は13年目を迎えました。昨年、6月から始まった新病院建設は順調に進み、今年10月頃には竣工を迎える予定です。昨年の「なんじゃもんじゃ(病院広報誌)」で紹介した生活支援型医療の充実を目指して様々な取り組みをしました。少しずつではありますが、成果を上げつつあります。

さて、我々公益社団法人地域医療振興協会(以下「協会」という。)が行う地域医療とは、地域の健康問題、保健医療介護関係の問題について、行政と地域住民が一緒になって取り組む姿勢を持ち、限られた資源の中で最大限の可能性と成果を導き出すというものです。これまでの約10年間、恵那の地域医療を守るべき立場にある市立恵那病院の健全なる運営を維持して行くことを忘れず心がけて来ました。そのために外部から多くの人材を集め、次世代の人材育成に努めました。いわば基礎作りの約10年でした。とかく地域住民の方々は、高度な医療を提供できる医療機関の存在を望まれます。しかし、当院のような中小規模の病院では、十分なマンパワーを持つことは厳しく、地域住民の方々が望まれるものすべてを満たす病院運営というのは困難です。このような状況でも「救急対応はしっかりしよう」と先ず診るというマインドを持って対応する総合診療専門医としてこの約10年間恵那地域の医療に従事して来ました。何とかこの地域内で完結できる医療体制にと考えながら運営して来ましたが、我々を取り巻く環境は、昨年より激変の時代に入りました。県主導で実施される地域医療構想の策定で、今後10年間で医療機関の統廃合や縮小、どんな病気やケガも治療ができる病院ではなく、特色ある診療ができる病院を目指して集約化が行われ、広域での機能分担化が進みます。激動の10年になるのではと思っていますが、その目指す姿は既に我々が行って来た医療の姿であり、更に洗練されたレベルにまで向上させようと考えています。

そして、これからの10年、新病院竣工から始まる地域包括医療・ケア(生活支援型医療)のシステム構築は

もちろんのこと、『健幸都市』宣言をした恵那市及びその周辺の地域住民のために健康増進事業、健康管理事業を行い、地域住民の方々が健康に暮せる環境整備に寄与して行こうと考えています。住むに良い街作りの一翼を担える地域中核病院を目指します。具体的には、新病院には健診センターを新設します。疾病の一次、二次予防に力を入れて行きますが、公衆衛生的な視点から疾病の予防、健康増進活動や健診の在り方を考えていきます。また、院内にコミュニティー・ヘルス推進部(私案)なる部署を設けて市とともに『健幸都市』と呼ばれる街作りに努力して参ります。協会も総力を上げてこの健康増進事業に携わって行こうと思っています。

最後に地域医療に貢献するために地域住民のニーズを先取りして、市立恵那病院は、「恵那地域包括ケア・総合医療センター(私案)」として、地域にある健康問題に積極的に取り組む姿勢を持つ総合診療専門医を育成し、多職種の方々と連携すべく、保健・医療・介護・福祉の拠点を整備して行きます。地域の皆様とお話をし、できれば健康増進につながるような活動を一緒にと考えていきます。これからもご指導ご鞭撻の程、宜しく申し上げます。

(管理者 細江 雅彦)



新病院の建設工事風景

医療消耗品委員会の活動

当委員会の活動目的は、医療消耗品の購入管理及び適正使用を図ることです。

具体的には、医師や看護師などが日々病院で患者様のために使用している医療消耗品（注射器、点滴チューブ、ガーゼ等の診療行為等で使用するすべての消耗品）の購入管理や各部署で違う消耗品を使わないようにする一元管理、また、在庫を多くしないようにする定数管理について検討しています。

さらに購入管理としては、通常、医療消耗品を新規で使用したいという場合は最初に「試用消耗品等（サンプル利用）利用申請書」を申請して、その使用方法を各現場で検討して頂き、その後、使用に問題がなければ、「医療消耗品新規申請書」を届けでて、初めて病院全体での使用が始まるといった運用ルールを実施しています。こうすることで無駄な出費を抑え、医療消耗品の全体数が多くならないように管理しています。

また、当院は大きく分けて5つの病棟と7つの外来で診療をしています。そのため各部署でも専門性が発揮され、使用する医療消耗品も多岐にわたります。各部署からの要望で各医療消耗品を購入すると同じような使用方法の医療消耗品の取扱い品目が増加してしまうので、当院では中央材料室から一元的に各部署へ配布することで、同じような医療消耗品が増えないように努力しています。

定数管理については、医療消耗品も他の物品などと同じように使用期限が決められていて、使用頻度の多くない消耗品を大量に購入すると無駄な費用が増えることとなります。よって、当院では年2回棚卸を実施して、各部署の在庫適正化を図っています。

こういった活動をすることで、病院の健全経営を確保し、地域の皆さまに質の高い医療の提供を行えるように努力したいと思っています。

（外来看護師長 長谷部美江子）



職員募集（正職員）

職 種	①理学療法士（1～2名）、②作業療法士（1～2名）、③事務職員【IT担当】（1名）
採 用	平成28年4月1日（試用期間3ヶ月）
勤 務	日勤（シフト制など）、有給・特別休暇などの詳細は面接時に説明
給 与	履歴書・職務経歴書などを考慮のうえ、決定します。
必要資格	普通自動車運転免許、①および②は資格免許も必要（新卒は見込みも可）
問 合 先	森井事務部次長（平日8:30～17:00の間 TEL 0573-26-2121（代表））



市立恵那病院 訪問看護ステーション

当院は26年より訪問看護ステーションを運営しています。在宅療養専門の看護師や療法士が利用者様のご家庭を訪問し、病状や療養生活に添った適切なケアとアドバイスで24時間365日在宅での生活が送れるように支援をしています。また、病院と連携して利用者（患者様）の状態を把握して、緊急時も迅速な対応が可能になっています。

当院の訪問看護ステーションでは次のサービスを実施しています。

■療養上のお世話

身体の清拭、洗髪、入浴介助、食事、排泄などの介助・指導

■病状の観察

病気の状態、血圧・体温・脈拍などのチェック

■ターミナルケア（終末期の看護）

がん末期などでも、自宅で過ごせるための看護支援

■在宅でのリハビリテーション

関節拘縮予防や機能維持、嚥下機能訓練、日常生活動作訓練（歩行、入浴）

■医師の指示による医療処置

かかりつけ医の指示に基づく医療処置

■医療機器の管理

在宅酸素、人工呼吸器、末梢点滴、中心静脈栄養管理、経管栄養管理等

■床ずれ予防と処置

体位変換の援助・指導、床ずれ防止の工夫や指導

■認知症ケア

認知症介護の相談等

■介護予防

低栄養や運動機能低下を防ぐアドバイス等



訪問看護利用方法

●介護保険を利用していない方（医療保険の方）

①利用希望者



②かかりつけ医へ相談（指示書作成）



③訪問看護（指示書の内容により訪問看護を開始）

●介護保険を利用されている方（要支援・要介護認定を受けている方又は申請中の方）

利用希望者



ケアマネージャーへ相談（サービスの内容やどこの訪問介護を利用するか等）



かかりつけ医へ相談（指示書作成）



訪問看護（指示書の内容により訪問看護を開始）

※かかりつけ医やケアマネージャーへ当院の訪問看護利用についてご要望をお願いします。



利用料金

●医療保険の場合・・・加入している保険の種類により負担額は異なります。

交通費は有料になります。

●介護保険の場合・・・原則1割負担ですが、所得により2割負担の場合もあります。

交通費は無料になります。